

産商第172号

平成21年12月11日

有限会社ワイアンドケイ
代表取締役 加藤祐司 様

京都市長 門川 大作

大規模小売店舗立地法による届出に対する市の意見について（通知）

平成21年5月29日付けで届出のあった大規模小売店舗について大規模小売店舗立地法（以下「法」という。）の規定により、下記のとおり通知します。

記

1 大規模小売店舗の名称及び所在地

ケーヨーデイツー深草店

京都市伏見区深草西浦町一丁目10番地の52外

2 法第8条第4項の規定による市の意見について

現在の状況及び意見書の提出状況等に配慮するとともに、大規模小売店舗を設置する者が配慮すべき事項に関する指針（平成19年経済産業省告示 第16号）（以下「指針」という。）を勘案し、届出書類を総合的に検討したところ、本変更計画の実施により、周辺の地域の生活環境への影響は少ないと判断し、市は意見を有しないものとします。

3 付帯意見

今後も、法第10条に規定するところにより、周辺の状況や経済状況などの変化に伴い新たな問題が発生する場合にあっても、周辺地域の生活環境の保持について適正な配慮を行い、当該大規模小売店舗を維持及び運営するよう留意することが望まれます。

意見理由

1 現在の状況（立地状況等）

当該商業施設は、都市計画法上の近隣商業地域及び第1種住居地域に立地している。

周辺の状況としては、店舗北側には大学、東側には高層住宅、南側には道路を隔てて商業施設、西側には国道24号線（竹田街道）を隔てて店舗併設高層住宅が立地している。

2 説明会の状況

法第7条第1項の規定に係る説明会については、変更内容が周辺環境に与える影響が少ないと判断し、京都市大規模小売店舗立地法施行細則第3条第1項の規定に基づき、説明会開催不要認定を行ったため、開催していない。

ただし、当該商業施設において届出内容の概要を掲示した。

3 意見書

法第8条第2項の規定による意見書の提出はなかった。

4 市の見解

今回の変更が、営業時間及び荷さばきを行うことができる時間帯等の短縮であることから、変更に伴う周辺地域の生活環境への影響は少ないと判断される。